



校訓

強い心

強い体

玉造中学校だより No 4
令和4年7月20日 発行

在籍:男131:女135 計266名

【自立貢献 一人一人の成長を感じた1学期でした】

令和4年度の1学期の行事を振り返ると、今年ならではのたくさんの活躍と成長する姿がありました。まず、6月の体育祭は、2年ぶりに全学年の保護者の見守り中での開催を実現することができました。制限のある中での観覧となりましたが、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで大きな混乱やトラブルもありませんでした。生徒たちが、全力で走る姿や全身で表現した応援の様子から、短い練習期間の中で3年生を中心に各団が絆を深めたことがとてもよく伝わってきました。PTA役員の皆様には、開催にあたりたくさんのお話し合いと当日の受付にもご協力をいただきました。ありがとうございます。県東地区陸上競技大会では、男子3位、女子14位、総合10位の活躍がありました。K.Hさんは、県通信陸上大会の走幅跳で3位となり関東大会出場を決めました。県東地区総体では、最後まで諦めずに挑む姿をたくさん見ることができました。控え選手も含め、全員でがんばる姿に成長を感じました。ソフトテニス部の女子団体優勝、個人O・Sペアの準優勝、K・Aペアの4位や卓球部男子団体3位、ハンドボール部男女が共に2位という成績でいずれも県大会に駒を進めたこともすばらしかったです。個人でもバドミントン部の女子ダブルス優勝を筆頭に、県大会出場を決めた生徒たちの活躍も楽しみです。イングリッシュ・プレゼンテーションフォーラムでは、行方・潮来予選・鹿行地区大会を勝ち上がり、県大会出場が決まりました。このような活躍や成長は、保護者の皆様の支えあってこそです。今後とも引き続きのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

茨城版コロナNext ver.4『Stage 2』になりました。今後の感染症拡大状況によっては、さらに強化されることが予想されます。夏休みになり、外に出かける機会が多くなると思いますが、これまでどおり感染症対策をしっかりとして生活をしていきましょう。現在のところ国の方針としては、「行動制限なし」「経済活動を止めない」としてはありますが、今後の拡大状況によってはどうなるかはわかりません。感染リスクの高い行動は控えて、基本的な感染症対策を徹底すること…3密を避けることと会話時のマスクの着用、手指の消毒や手洗いとうがい…を一人一人が実践していくことです。

これまでの経験で身に付けたことをしっかりと実践して、今年ならではの充実した夏休みにしましょう。ストレスを感じることもあるのが事実です。そんな中でも、少しでも前向きに捉えて、受け入れ、当たり前のこととして実践できれば、自分ためだけでなく相手への思いやりにも繋がります。引き続き、各家庭での感染症拡大防止対策の取組をよろしくお願いいたします。

「2回目のありがとう」

県東地区総体後にある保護者から、「校長先生、この前は暑中、応援ありがとうございました。」と、会場でのありがとうに加えて、2回目のありがとうと言われ、恐縮する気持ちもあったのですが、心が温かい気持ちになりました。そんな中、夏休みを前にして思い出したことがありました。それは、小学生の頃、友達の家から帰るとよく言われた母親からのことばです。「友達の家で何かごちそうになったら教えてよ。そのお礼も言わないといけないから。」…と。

夏休みなら、遊びに来ている子に、「暑いから良かったら、アイスクリームを食べてね。」と声をかける場面があるかもしれないですね。別に、お礼を言ってほしくて、その保護者は声をかける訳ではないと思いますが、後日、「うちの子がお邪魔して、ご馳走にもなったようで、ありがとうございました。」と言われたら、なんだかうれしくなりませんか?「お礼の大切さ」は理解していますし、その場で言えば十分という考え方もあります。「2回目のありがとう」はお礼の最上級なのかもしれないと思うのです。もちろん、すべての出来事に対して、2回目のお礼を伝える必要はないと思います。けれども「ありがとうございます」という言葉が自然と出るような人になれば、周囲が応援団となり、「次も協力してあげたい」「また助けてあげたい」と可能性が広がっていくのではないのでしょうか。このことは中学生なら理解できますし、このような輪が広がっていることを感じています。

【写真で振り返る行事】

【7月12日 第1回 学校評議員会】



【7月13日 イングリッシュプレゼンテーションフォーラム鹿行地区大会】



【7月14日 玉造工業高校 出前授業】



